

ニュースレターのっぽ No.211

〒438-0086 磐田市見付2989-3(ワークピア磐田内)
<TEL> 0538-36-1890 <FAX> 0538-31-2130
<E-mail> noppo@iwata-npo.org
<ホームページ> https://iwata-npo.org/
<Facebook> https://www.facebook.com/iwata.noppo
<管理・運営> NPO法人磐田まちづくりネットワーク



暑さが去りやらぬ昨今ですが、いかがお過ごしでしょうか。秋の風物詩といえば、まず思い浮かぶのが「お月見」です。この時期は空気が澄みわたり、月がひととき明るく輝いて見えるため、古くから月を愛でる行事が行われてきました。お月見にはススキを飾り、月見団子や里芋、栗、柿など、秋の収穫物を月に供えます。ススキは月の神様を招く依り代とされ、団子は満月を模しているといわれています。家族や親しい人たちと集い、美しい月を眺めながら静かな時間を過ごすのは日本の秋ならではの過ごし方ですね。

まちづくりワークショップを開催しました 新たな発見、価値観の種をみつけよう。(1回目)

報告

7月27日(日)9時からiプラザのふれあい交流室にてまちづくりワークショップ(1回目)を開催しました。一般参加者、ファシリテーターの方々、中学生ボランティアの皆さん合わせて25人でのスタートとなりました。初対面の方々ともアイスブレイクの時間を共に過ごすことで、「心理的安全性」を確認することができました。次に、グループになり、磐田市についてテーマを変えながら話し合い、相手の意見を聞き、質問することで内容を深めていくという対話の基本姿勢を学んでいきました。途中、だまし絵を使って、自分だけの視点では見えなことを他人からヒントを得ながら見えるようにしていくプロセスは、対話を深めていく流れと同じであることを体験しました。

のっぽ稼働日情報

平日(火)~(土) 9:00~17:30
日祝 9:00~17:00

※休業日は「月曜」です
月曜が祝日の場合、翌日休業となります。

Facebook

活動情報掲載中！！



■講座 & イベント
■団体の活動情報
様子などを詳しく
UPしています☆

▼アイスブレイクで場が和み盛り上がりました



▼対話を学ぶ一環でだまし絵に挑戦しました



▲市長が激励に来て下さり、中学生は大興奮でした
◀テーブルごとに磐田市についてテーマを決めて話し合い、聞くこと、質問することで考えを深めていきました

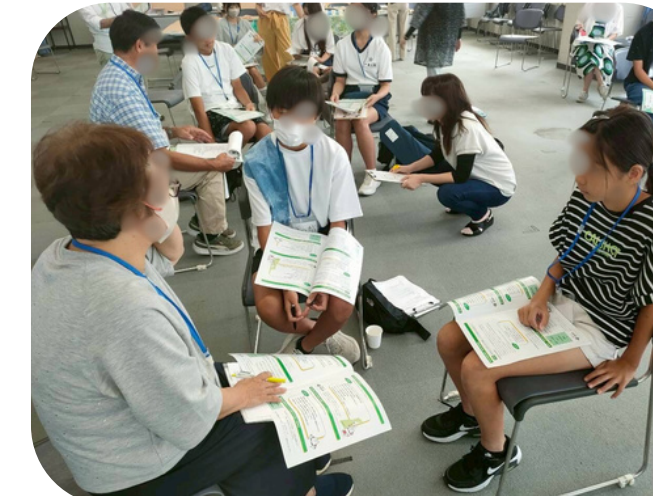
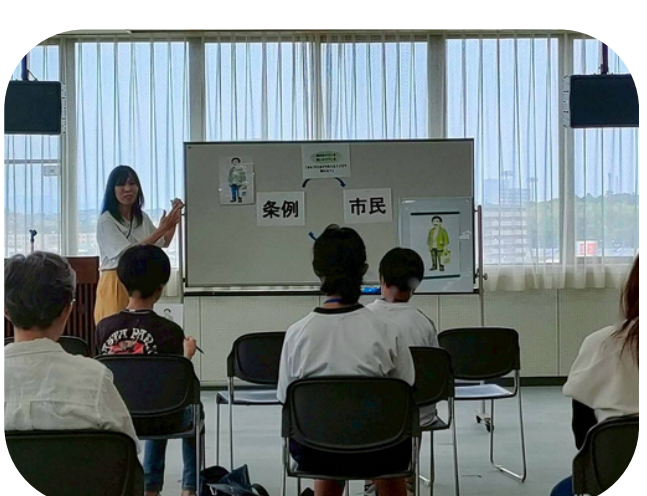
この人はどんな人だろう？ 知り合う、話し合うことで「いわた」が変わる(2回目)

報告

8月9日(土)13時30分からワークピア磐田の視聴覚室にてまちづくりワークショップ(2回目)を開催しました。“磐田市みんなが主役のまちづくり条例”を紹介し、AIで提示されたこの条例を象徴する人々を通して条例と市民生活がどのように交わっていきべきかについて個人で考えた後、グループワークを行い他者の意見を聞きながら考えを深めました。最後にはメインファシリテーターの方が、まちづくりの精神と通じるもののある絵本を読み聞かせして下さい、参加者の皆さんは聞き入っていました。メインファシリテーターの方の穏やかな人柄が反映された回となりました。

◀ 伊藤直子アドバイザーが市民と条例との関わりについて条例が実生活の中にどのように関わってくるのか考えを深めるヒントを下さり気付かせてくださいました

▼個人の考えをワークシートに記入した後、それをもとにグループワークを行い、みんなの前で発表しました。人の意見を“聴く”ことの大切さも学びました。



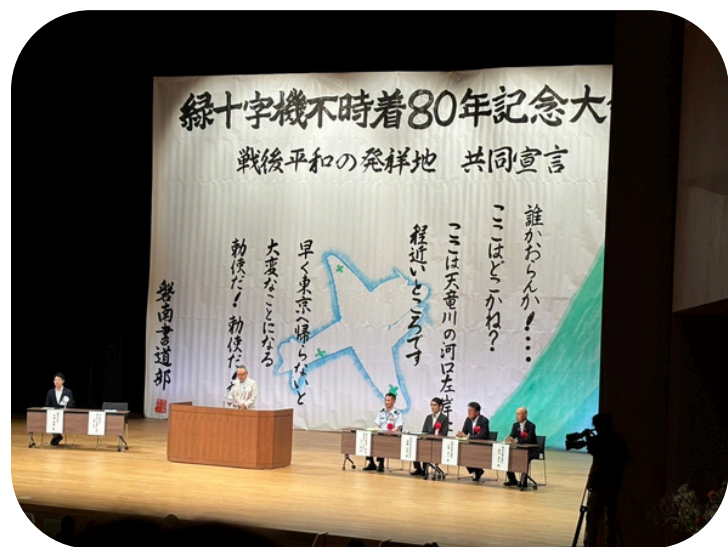
8月23日（土）13時30分からワークピア磐田視聴覚室にてまちづくりワークショップ（3回目）を開催しました。前半は、みんなが主役のまちづくり条例の「前文」「各組織の役割」「市民の役割」の3項目について自治デザイン課の方が要点をまとめて解説してくださり、その後グループで意見出しを行い付箋に各自書き出しました。後半は「これからのまちづくりに必要な活動は何だと思いますか」「必要な活動に対して自分がやりたいこと、出来ることは何だろう」という2つのテーマについて話し合い、各自が付箋に書き出したキーワードを模造紙に分類しながら貼ってグループ全員でまとめていきました。この一連の流れの中で誰もが納得し主体的に行動できる状態をつくることが重要であり、その手助けをするのがファシリテーターの役割であることを再確認しました。

▼メインファシリテーターによるexcitingなオープニング ▼ゲストスピーカーの解説を受けて個人で意見出し



▲付箋に記入した意見を共有し全員で模造紙に話し合ったことを“視覚化”し最後に発表しました

市民活動×平和



◀緑十字機不時着80年記念大会が8月20日にかたりあで開催されました。太平洋戦争終戦時の処理のため、伊江島から千葉県へ向かう途中、磐田市鮫島に不時着した「緑十字機」の歴史を継承する「緑十字機不時着を語り継ぐ会」の皆さまは、この史実を後世に語り継いでいくため精力的に活動されています。



平和の鐘つき（福王寺）▶
市民の平和展実行員会

特攻隊で叔父様を亡くされた方の話を聞き、平穏な日常を送れることは決して当たり前のことではないこと。平和を守ることの大切さを皆で考えました。



□市民活動に活用できる助成金情報

名称	内容	応募・問合せ先	応募締切
「暮らしの向上」に通じる情報技術等の研究に関する研究開発	情報技術等を駆使することにより「日常の暮らしのさらなる向上」に繋がる研究開発に対して支援を目的として幅広く助成を行います	カインズデジタルイノベーション財団 https://cainz-dif.or.jp/grant/2024/	2025年11月30日
令和7年度 ふじのくに地域共生大賞	静岡県社会福祉協議会では、「様々な分野の団体、企業、個人等が連携」し、「支援する人、受ける人」という関係を越え、誰もが参加できる」共生・共助による地域づくりを目指して努力されている団体の取り組みを表彰します	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会 https://shizuoka-well.jp/ chiiki-kyousei-taisyoun-forum/	2025年10月3日

■その他、「CANPAN助成制度」で検索すると様々な助成金情報が出てきます。どうぞご覧ください。尚、センターでは申請書の書き方などの相談にも応じています。電話での事前申し込みをお願いします。